

真夏を思わせるような暑さかと思えば、朝夕はひんやりするような日も…大人の私たちでも体調を崩しがちなこの季節…お子様の体調の変化には十分に注意していただき、早めに休息をとったり、受診をしたりするなどの対応をよろしく願いいたします。特に、これからの季節、水遊びも始まります。いつもと違う、熱が高め、下痢気味、食欲がない…などの姿が見られたときは、必ずお知らせください。楽しい水遊びも、体調の悪い時に行くと危険を伴います。園と家庭との連携で、子どもたちの健康を見守っていきましょう！

今月は、その水遊びをするにあたり、『とびひ』についてお知らせしたいと思います。たかが虫さされ…されど虫さされ！かき傷から菌が入り、とびひになったということも少なくありません。楽しい水遊びを満喫できるように、ご協力よろしく願いいたします。

歯磨きの習慣を身につけよう

- 食後は必ず歯磨きをしましょう。
- おうちの人と楽しい雰囲気の中で歯磨きをしましょう。
- 最後は磨き残しがないか、おうちの人が仕上げをしてあげましょう。
- 小さい子どもはブクブクうがいできれいにしましょう。

※園でも昼食後の歯磨き指導を行なっています。園と家庭で協力しあい、歯磨きの習慣づけをがんばっていきましょう。

毎朝のチェック ~プールあそびの前に~

<input type="checkbox"/> <p>十分な睡眠がとれていますか？</p>	<input type="checkbox"/> <p>食欲はありますか？</p>	<input type="checkbox"/> <p>朝食後の排便はどうですか？</p>	<input type="checkbox"/> <p>熱はありませんか？</p>
--	---	---	---

夏に多いとびひ

プールの季節です。傷から菌が入るとびひになってしまうと、子ども自身の体だけでなく、みんなにうつってしまいます。おかしいな？と思ったら、すぐ病院へ行きましょう。

とびひ

とびひは虫さされやすき傷に菌が入り、感染する皮膚病です。膿をもった水疱ができ、つぶれてジュクジュクになり、その部分を触った手で体のほかの部分をかくと、次々広がっていきます。また、接触すると他の人にもうつります。

主な症状は、透明な水疱ができ、それが濁ってきます。水疱は破れやすくかゆみもあるため、かきむしることで菌がうつってしまいます。

とびひに気がいたら

- 水疱の中の菌がほかにかからないよう、ガーゼなどで覆い、医師の診断を受けましょう。
- お風呂は感染を防ぐため、最後にしましょう。
- 爪を切っておきましょう。